

# 琉球大学学術リポジトリ

## 1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880</a>



大臣  
事務次官  
外務審議官  
近藤外務審議官

北米局長  
アツア局長  
参事  
北米課長

極秘  
無期限  
部内号

官房長 経済局長

佐藤総理、ジョン大統領 会談  
録 (第1回会談)

11月14日 午前11時35分より1時10分まで小別 佐藤  
総理、大統領と二人で話し合う 会談に付いての記録

次の要約 (島内調査官、ワシントン通信官 通信)

総理: 時間からすれば、話し合っている。話し進む  
方向は不明だが、自分も、東南アジアに

行くつもり報告した。その中で、ウチは、また、今までの  
内閣連中、中共、中国代表、安全保障等について

話し合  
大統領: 大事な限り、ソレをうかがう。総理

の方向、議題を話し合っている。しかし、以前は、  
一層切迫している。ソレは、ソレの1953

2  
話し合

総理: 自分も、先程、ソレの話し合っている。国

際決断に肉付する。重要と見う。

大統領: ソレの内閣は、日一日と深刻に悩んで

まわっている。半国と見う。英国が、平価引下げをしない  
方向に命令している。イタリ、ドイツにも協力

要請している。半国は、ソレを扱って、金持の半  
題を出す。ソレは、誰か協力してくれたい

という。他国が協力してくれたい。半国と見う  
どうしている。日本が、ソレを支持する。ソレ  
(hold the line)

強く希望する。日本が、かまひの保証を得る  
方向。ソレは、ソレの方向。

総理: 額は、ソレから知らなければ、日本と見う。重大な  
内閣をまわっている。ソレの総理の時代は、ソレの

1931年 英国の銀行に日本の金を預け入れ  
 させた。その程度のものであつた。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 10億ドルが必要である。イリ、ドイツに  
 求めよう。

大蔵省： 日本は、金中の努力を私、この切  
 断を防止するから決意を述べよう。この努力

大蔵省： 英国が切下げをしない限り、第  
 2に、他国がそれに従うべきでない。第3

大蔵省： 日本自身一切下げをしない限り、  
 切下げの圧力があるから、勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

大蔵省： 勇気と決断が必要

委員会に取上げられ了解した。  
 日本は外債保有は20億ドル程度であり、最  
 近は減少の一途を辿っている。そのうち半分は米  
 国債、一割は国債削減を命じられている。送  
 り、援助、協力が行われている。その範囲は狭い。ト  
 イの外債保有は70億ドルに比べて日本は3  
 分の1であり、トイが何かを要求している。その問題  
 は一寸無理にはないが、アフリカ諸国は肉心を  
 有するといふ。検討を促す。  
 東南アジアにたいし経済協力、アジア銀行特  
 別基金増額等につき、米國から理解を協  
 力をねがう。特にインドネシアの自由市場に  
 止むべきは大切である。送る。アムステル  
 ダム会議の進行を重大な肉心を要する。見守る。

11. インド、カンボジア、クワン、ビルマ、タイ、  
 フィリピン等に対する借款、援助計画の  
 あり。その程度日本から送るべきか鋭意  
 検討する。  
 経済問題の、米と条件が支拂はる簡単  
 だが、政治問題 特に自由と平和を争う改  
 政問題が、あつた。米國の利益にたいして  
 犠牲的。平和のために争うべき生命を  
 知す。東南アジア銀行の、米國と、自由と平和  
 の問題に心配しているのを感した。しかし、中  
 存在が思、それ以上、米國の国への影響  
 している。米國の国は、中東を争うべきあり  
 かつた問題等について意見を述べた。米國の  
 支那の請求の際、大流線に対し、それ以上

カレシオンや(何-8)を請い、同時に撤退する  
 べき国を申し立て、今回の東南アジア諸国  
 同様に各国から半国の撤退は困難という気持ち  
 の強さを認見し、戦争に負けつたからして  
 エスカレートするやうな戦争には大変難しい  
 ことはよく理解している、犠牲の大きさを承  
 知している、何かの形での犠牲の報いを行  
 いたいと思う、日本は平和を望むが全中の  
 努力を待つべきである、  
 大変短かい期間であるから、早くに立  
 寄り、大統領、副大統領の会、ヒンカー大は  
 ウェストモランの指揮に会ったから、会には  
 に残念である、午一、キ一と話して、話  
 した内容にはアソの同意を得、当事者同志が

何かの手法で解決するべきであるとの意  
 見がある、戦争中という困難な条件下で  
 民主選挙による新しい大統領の選出は出来な  
 ない、半国が内政不干渉の原則を認めている  
 ことに、困難な問題をよくやると思ふ、本  
 50万の兵隊を送り込んでもいいから、抱得正  
 しくやるべきの立場である、キ一は、分らな  
 くないが、今の状況では思ふ存にか、和平のため  
 戦争の何かの話し合いをするべきである、今  
 ランクである、今回の外務大臣の力加に  
 派遣するべき、北爆停止を第三国が保証  
 し、相手の同意を得させる、ウエストモラン  
 決の契機に存在可能性があると思ふから、  
 意図が本心の本意にま、真の同盟国として



水木水木 北東にシカ 北東に 協力して  
中東とソ連の問題は関連して 解決したに  
あつた。

2. 北東の 影響が 限るには 東南アジア 諸国の  
関心を 持つべき。多くは、中東の影響が 限るに  
あつた。

3. 北東の問題は 北東に  
条件として 戦争をやったから 経済が 停滞した  
は 困難に なるかと 同様である。しかし 経済の 勢  
力は 依然 残存しているから 北東に 北

からの 変化が なければ 北東 北東に 止まると  
いうことになる。北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に

北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に  
北東に 北東に 北東に 北東に 北東に 北東に



自分は今中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力  
 中韓の両方に行かなくてはならぬ。自由世界に止まらなくてはならぬ。力

し、無理をしないように願う。また、差出が  
 利しかたは、一筆に持てて送る  
 ことと、持てて送る。会議の内容と大  
 法廷に送ると言った。二、三、メシロ、  
 次で、  
 韓国には大流送託化式が行われ、正  
 常化は、うまくいっている。ハン  
 ン、副大流送託化式の際、済州に、北  
 鮮から38度線以南への侵襲が、ある。北  
 鮮への送託は、送る。余り心配は、  
 ない。  
 韓国、台湾、フィリピン、  
 と、7ヶ所の国々。特に、フィリピンが  
 顕著。北朝鮮は、日本国内の

小中の民主勢力に甘くしやるとの批判もありか  
 二の事案を是正するに政府は比も努力しぬ。  
 日本国民は、左翼勢力が無茶な要求をこらへての  
 認識を得た。又、X行を政府に批  
 判するはありか。二行の行末を批判するは  
 否、と云ふ。  
 二行で、吉田、河理、國華、に對する特許承認  
 に御礼を申す。吉田氏の新聞に評判  
 あり  
 が、~~国民~~ 国民の支持を失ひ引退したが、亡くた  
 せられ、新聞は全にその偉大さを取上げて書  
 いた。新聞は、その前に誤りに對し、謝する  
 姿勢をいふ人もあり、と云ふ。勇気のよい偉い  
 政治家であつた。  
 緊急に國際情勢を説く(と云ふ) 沖瀧、小

菅原と北村の理解しにくいかと云ふが  
 国民は、二行の退任を強く希望し、二行  
 今や国民の厭望となつた。しかし、早くに退  
 せらるゝのはない。即時退任を要求するは  
 社会党の行末、自分の、二行の行末はわづら  
 自分の100万近い日本人が日本に復帰しぬ  
 一才。  
 北村は尊重せられたいと思ふ。河理と云ふ日本、相  
 車、安全を考へては当然であらう。二行の退任  
 沖瀧、小菅原の退任は、同時に考へられ、二行  
 退任は、VONIN大津と連に、伝へ、二行の退  
 行と思ふ。本意は、二行、下午に退任は、大變好  
 同退を日本国内に起すに對し、可なり25年  
 近く、4分の1老記が退任し、日本国民が  
 impatient になつてゐるからであらう。退任(可等

かの解決方法が絶対必要である。今日のように  
 12月21日の戦いがあり、中共が核武装して  
 いる最中には、沖縄の基地をなくすか否かを  
 考えるのは先づきである。(しかし、適当な時期  
 に復帰を支持するかの意思は、二つの果  
 断的な安全保障を阻害しないことを  
 何時ともいえない。日本国民は  
 基地をなくす意思を二つの条件から  
 出さうか。  
 利権のやり取りで、いつかか  
 来り(2008年)準備が完了。EXPOも同じ  
 来り、沖縄、小笠原に7000人。target date  
 への準備が困難である。具体的には何時  
 になるかは二、三年のうちにいつ

世の中での自衛をどうするか date での  
 timing のこと。  
 大統領：このことは、うさぎ、うさぎと  
 いうのが、(処理の準備) 自分  
 は、誰か、あつ、(このことを検討しよう) (か  
 し、済んだら、~~韓国~~ 韓国は、領土を  
 本島、領土、植民地を併合し、韓国は  
 領土、うさぎ、うさぎに、誰か、  
 議会に、詳細に報告し、いつか、  
 小島は、日本から in that part of the  
 world の防衛責任を引受ける offer  
 からは、歓迎する。小島は、政府に、報告  
 した。朝鮮、いつか、~~韓国~~ 韓国は、  
 小島から get out するのを歓迎する

~~地図~~ 元徴く作らるるより 徴兵責任を引受ける  
 事を受け取る。社会方面では 政府、アム  
 から pull back せよとの意見が強い  
 日本、ドイツが 責任を分担せよとの意見が  
 強い。わが国は 二の内閣を真剣に考慮す  
 る必要あり。アム、ドイツが 何を好むかを自  
 分に具申する必要あり。  
 経緯： 神保、小笠原、金保の安全は降 ~~降~~ <sup>降</sup>  
 は、尤も大切である。日本は 接戦力を増  
 進し、この 半島の接戦力の下に 安全を保  
 障すべきである。長期にわたる 日本への安全保障  
 が どのような形で行われるか研究す。現在の 安  
 全保障 ~~保障~~ <sup>保障</sup> の取組が 長く流れては 混同の憂  
 あり。この 基本は 考案の下に、神保、小笠

原道徳和ら、軍事基地の地内閣の何か  
 があるか 国民の教育程度を考案する  
 大演説： アム、ドイツと十分話し合  
 徴兵努力の増加の indication が 日本に  
 歓迎す。半島の 徴兵責任の一部を give  
 up することを受け取る。半島の 一部は 幻  
 滅を感ぜし、本島、波らば、半島が 自分以外  
 の手にある者を 徴兵しうる 必要あり。と、  
 あり。具体的 timing や date は わが  
 国に 内閣を 要する。しかし、日本が、  
 諸国に that part of the world には 引  
 き 責任を引受ける必要あり。we can work  
 on that. アム、ドイツは 日本と 何か  
 があるか 話し合。アム、ドイツは 社会に

説明の要

総論： 原潜、インフラ等々全体の心配

中核の要

大波長： 現在半国内におい、自分から、2尾

駿(トシ)が、先 孤在主義が強く、2尾

(トシ) 総論の「in a few years」に西  
国への消滅の時期に合意するべき目

トシ (with a view to ~) と書いた  
此片を先(考)に、先(考)のトシ、合

論(論) (トシ)